

## 第8章

# 分析シート（個人用・学校用） の活用

令和4年度に開発した分析シート  
とその活用のポイントについて掲載  
しています。



# とっとり学力・学習状況調査 分析シート（個人用・学校用） の活用方法について

【令和5年1月27日（金）に開催した「とっとり学力・学習状況調査分析シート（個人用・学校用）の活用方法説明会（オンライン）」の資料より】



※このQRコードから、説明会の動画を見ることができます →

## 1 分析シート（個人用）について

### 分析シート（個人用）の特徴

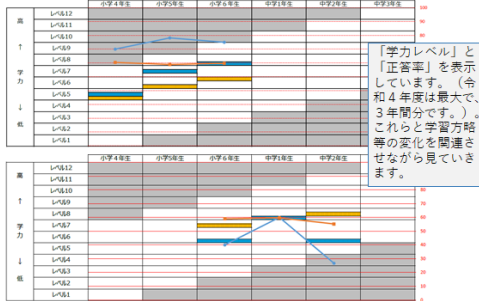
- 児童生徒一人一人の学力レベルや非認知能力・学習方略の数値の経年変化をグラフ等で見える化した。
- 6年間分の個人の変化を示すことが可能である。（今年度は最大で3年間分である）

※このシートは【帳票40】のデータを蓄積しています。

【帳票40】では、昨年度実施から今年度実施までの1年分の変化をみることができます。

## 1 分析シート（個人用）について

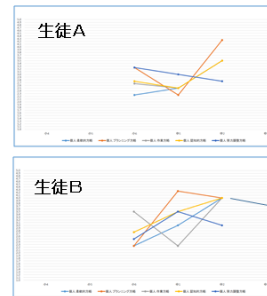
### ① 教科全体 正答率



「学力レベル」と「正答率」を表示しています。（令和4年度は最大で、3年間分です。）これらと学習方略等の変化を関連させながら見ていきます。

## 1 分析シート（個人用）について

### ②-2 学習方略



「学習方略」等について、経年での変化がわかるように折れ線グラフで示しています。（令和4年度は最大で、3年間分です。）今年度の数値とともに今までの推移を確認することができます。

●今年度「伸び続けている数値」なのか等について、一目で確認できるよさがあります。

## 1 分析シート（個人用）について

### 【帳票40】個々の児童生徒の現状と伸びを把握し、分析する

- ・今年度の結果を分析し、学級の児童生徒の現状を把握
- ・昨年度からの学力の伸びを見ながら、伸びが大きい（小さい）児童生徒を確認
- ・非認知能力・学習方略の変化量が大きい（+/-ともに）児童生徒を確認  
→ 学力の伸びと非認知能力・学習方略の変化量を含わせて個々の状況の見取り  
→ 担任がすでに支援が必要であると認識している児童生徒かどうかの確認  
→ 対応の必要性と、その場合の対応策の検討

※令和4年度とっとり学力・学習状況調査分析方法説明会資料参照

### 分析シート（個人用）の活用

- (例1) 【帳票40】を確認後、気になる児童生徒の補助資料として実態把握に役立てる。
- (例2) 全員分を確認をして、下降傾向にある学習方略等の項目を個人の重点課題として焦点化し、個別の指導・支援に生かす。  
(教育相談や懇談等の話題として)

## 2 分析シート（学校用）について

### 分析シート（学校用）の特徴

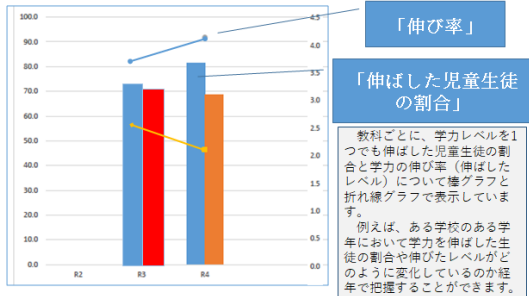
- 学年の経年変化を見える化した。その学校と同じ学年の傾向を見取ることができる。
- 10年分のデータを蓄積し、表示する。

中3							
中2							
中1							
小6	★	★	★	☆	☆	☆	☆
小5							
小4							
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	...

同一集団の変化を見取るときは、既存の【帳票28】を活用する。

## 2 分析シート（学校用）について

### ⑬学力分析（伸ばした児童生徒の割合）



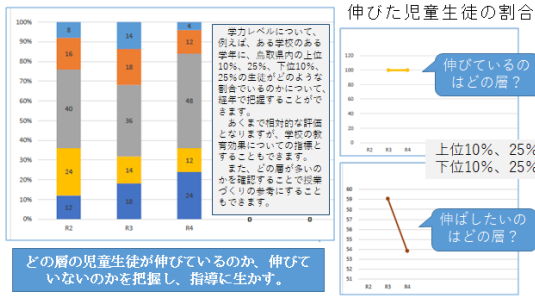
## 2 分析シート（学校用）について

指導の振り返りや校内の取組の成果指標として活用

- (例1)  
「伸ばした児童生徒の割合」は大きい、「伸び率」が低い場合  
→授業の難易度を上げて、もう少し負荷をかけてみよう！  
→知識を活用して解決する問題の量を増やしてみよう！
- (例2)  
学校として、常に「伸ばした児童生徒の割合」が大きい場合  
→学校の取組として行っている、〇〇タイムの成果が出ているかもしれない。より充実させよう！  
→研究を進めた〇〇の成果が出ている！
- (例3)  
校内研究のテーマが算数の場合  
→「伸ばした児童生徒の割合」が増えたかどうかを研究の成果指標の1つとして活用しよう！

## 2 分析シート（学校用）について

### ⑭学力分析（上位・下位 児童生徒の割合）



## 2 分析シート（学校用）について

校内研究や校内の取組の成果指標として活用

- (例1)  
例年、下位層が多いことを学校の課題として、校内研究を進める。  
→1年後、この数値が〇〇になるように取組を進めよう！
- (例2)  
習熟度別の少人数学級で指導を行っている学年において、学力レベル上位層や下位層の伸びを確認し、学校の教育施策を考えるときの根拠にして校内体制や指導を振り返る。  
→下位層の児童生徒が伸びているので、引き続きこの体制でこう！
- 指導の振り返りとして活用
- (例)  
もっと上位層を伸ばしたい、または、もっと下位層を伸ばしたい  
→チャレンジ問題を準備しておこう！  
→全学級で〇〇に取り組もう！

## 2 分析シート（学校用）について

### ⑤～⑫学力分析

(主体的・対話的で深い学びの実施、非認知能力、学習方略)



校内研究や校内の取組の成果指標として活用

- (例1)  
「学習方略」の1つに着目して、学年団で共通理解取組を実践する。  
→自分の担当教科では、〇〇のときに〇〇の指導ができそうだ。  
→定期テスト前、どの学級でも共通して〇〇をしよう。  
→えを統一するために説明は学年主任が学年集会でしよう。  
※学年主任や研究主任を中心に、学級担任や各教科担当とともに進める。
- (例2)  
「自己効力感」に着目して、学校で共通理解取組を実践する。  
→児童（生徒）会で行う〇〇活動のねらいに、この視点を取り入れよう！  
※学級担任・各教科担当や児童（生徒）会担当とともに進める。

## 3 活用のポイント

- 1 学校に必要なデータを選択して活用してください。
- 2 解釈や取組に正解はありません。だからこそ、チームで知恵を出し合ってデータを活用してください。
- 3 小中連携の資料の一つに活用してください。お互いの様子を確認するだけでも新たな発見があるはずです。
- 4 小学校では、4、5、6年生だけの取組とならないように、学校全体で取り組むことが大切です。
- 5 中学校では、国語と数学だけの取組とならないように、学校や学年全体で進めることが大切です。